

## 令和6年度上松技術専門校運営協議会 主な意見等

開催日：令和6年7月19日（金）

項目	学科・訓練科	主な意見等	校からの回答・校の考え方
入校生募集に関する こと	木工科・木材造形 科共通	<p>情報発信について、YouTube等SNSの活用を検討していただきたい。</p> <p>指導員の皆さんの今後について、訓練生に教える技量を持った人が、今後、持続的に来てもらえる可能性についてどう考えているか。</p>	<p>後任者を確保して継続的に育てていかないといけない、校の一番の課題として捉えている。</p>
訓練に関する こと	木工科・木材造形 科共通	<p>訓練生から、「木工の時間が足りない、もっとやりたい」とのニーズが出てきているようだが、それに対して現在の1年制を2年制にする等検討されたのか。物理的な問題があるのか。</p> <p>例えば地元で就職して、ろくろを挽いて作品を作りたいという人がいても、もし時間的な問題でその魅力が損なわれることでは困る。</p>	<p>現在、入校生は30才前後の方が多く、早く技術を身に付けて早く稼がなければならないということがあるため、2年間という時間は彼らにとってどういう時間なのかを考えないといけないと思う。</p> <p>また、1年目と2年目の訓練内容が異なるため、それぞれ別の訓練場所が必要となる。</p>
		<p>過去に実習生の制度があったと聞くと、例えば大学院生が大学生の指導に当たることはよくあることで、訓練生が自分で学びながら先生の手伝いをするということができるとよいのではないか。</p>	<p>1年制のカリキュラムの中では難しい。</p>
		<p>他校へ視察に行くなどして、校全体のスキルを上げていきながらその中でカリキュラムがどうあるべきかと検討していかないといけないと思う。</p>	<p>見習う部分は本校のカリキュラムにうまくアレンジできるように検討したい。</p>
		<p>1年間の訓練は短いとは思ったが、短いからこそしっかり密度を高く自分で学べるなどと思う。訓練生たちの技術の習得度は、訓練終了後の就職をどのように考えているかで変わってくると思う。会社見学を通して、どこに勤めたいかを在校生に考えてもらえば良いと思う。</p>	<p>カリキュラムを含めて色々課題はあるとは思いますが、期待されていることは確かだと思うので、少しでも改善されるように考えていきたい。</p>

項目	学科・訓練科	主な意見等	校からの回答・校の考え方
訓練に関すること	木工科	<p>企業側のニーズに応じたカリキュラムを考える必要がもっとあると思う。</p> <p>木工科の中でも選択できる余地があれば2科の差も感じなくなってくるのではないかと思うので、カリキュラムを含めて検討していただきたい。</p>	カリキュラムに工夫を重ねていきたい。
80周年記念事業に関すること	木工科・木材造形科共通	<p>この事業を行うことによってネットワークが深くなっていけると思うので、ぜひともお願いしたい。</p> <p>在校生も含め、地域のお祭り等に参加いただくことで、地域交流ができてくるため、今後も継続をお願いしたい。</p>	地域、関係各位からも御協力、応援をお願いしたい。
満足度調査に関すること	木工科・木材造形科共通	例えば、「カリキュラムについてはどうか」等細かい聞き方をしたうえで総合評価を聞くようにしないと答えにくいのではないか。	調査方法を改善したい。
民間活用委託訓練事業に関すること		以前、介護職員初任者研修を貴校でやっていたことがあると聞いたことがある。今まで木曾広域連合で行っていたのができなくなっているため、ニーズが無いことは無いと思うので開催を検討していただきたい。	郡内で訓練ができる事業所が、現在は無くなってしまった。今後、もし、木曾郡で訓練を行える事業所ができる等、開催の可能性が出てきた場合は、開催を検討したい。